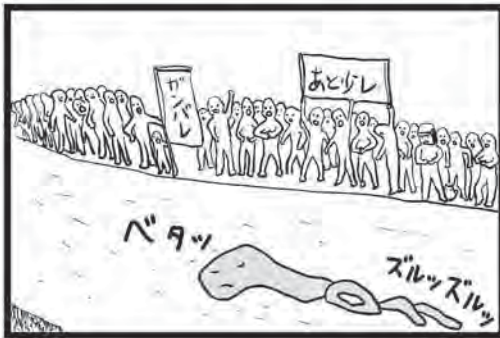


いろいろなことがあった2011年さようなら 新しい年 良いことがあるように祈ります

さわうたも気分一新 歌いつづけます

さわごえ君 第14話
「こんなことって」



腐敗した社会の権力者によるソクラテス抹殺裁判を苦々しく思う市民がいて、「ソクラテスの死は社会の損失」と考えた友人が脱獄の手配をして「さあ、いっしょに逃げましょう」と誘めた。それを断るソクラテス。その言い分がすごい！「だって、自分の社会（ギリシャのアテナイ）で生きてこられたのは、社会の約束事があるって、それに守られてきたわけじゃん。そして、自分に死刑を宣告したのもその約束事に沿ったことだった。この決定が気に入らないからといって脱獄するというのは、社会の約束事を否定することになるのだから、いままで自分が生きてきた社会そのものを否定することになるのだし、主張してきたことも全部嘘だったってことを認めるようなもんじゃないの」と言い放ったのでした。

「いちばん大切なことはただ生きるといふことではなくて、善く生きることであり、それは美しく生きること、正しく生きることと同じことなんだよ」と・・・。

子どもたちも大人のセコイところばかりを学んで育つ現代。この話はわたしが関わるでんでん子ども応援隊の学習サポート教室の卒業を祝う会で小・中学生に講話したものを素に書き直したものです。

哲学とは「人は何のために生きるのか」ということを追求する学問。その哲学の基礎を作った人として、ソクラテスはその後二千年以上、人々の尊敬を受け続けているわけです。

いつの代も妻の一喝、真理かたなし

二男から勧められて読んだソクラテス。「ソクラテスってすごいひとだったんだねえ」と言ったら、「そうだよ。格好いいよね」と返って来ました。親子の会話がうまくいったので、調子に乗って「ソクラテスみたいになりたいね」とつぶやいたら、「なに言ってるのよ。ごたくばかり並べてないで、あんた、老後の蓄えどうするのよ」と妻の声。いえ、いえ、今の奥様じゃありません。二千五百年前の「ソクラテスの女房」の一喝。怖わっつ！（終り）



その人の名はソクラテス③

善く生きること
美しく生きること
正しく生きること

プチ・ボイトレ 第6回 講師：高藤敦子
12月27日(火) 13:30~15:30 1,000円 誰でも1回だけでも参加歓迎

プチコーラス 2012年のスタートは1/17(火)からです
2012年からのさわうたは・・・
第2・4週はリクエストDayです！
第1・3・5週はセキシユウ選曲で行います

<さわうたカレンダー>

- 太い数字=さわうた
-=ふりうた
- =プチコーラス
- ♡=プチ・ボイトレ
- ⊙=ゆるゆるサロン
- =AMANEライブ

2011 (H23) 年12/25 ~ 2012 (H24) 年1/21						
日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21